



学校だより

～立花小学校は令和5年3月に創立150周年を迎えました～

たちばな

2023年6月1日

尼崎市立立花小学校
校長 植木 加代子

信じることで 自分も人も大切に

6月の声をきく前に、例年より早い梅雨入りとなりました。草木や田畑が潤う恵みの雨の季節でもありますが、近年は線状降水帯の発生や地震の多発などにより、学校も一層緊張感を増しています。17日の引き渡し訓練は、命を守るという強い気持ちをもって実施いたします。立花フェスティバルの後、お待たせする時間もあるかと思いますが、保護者の皆様どうぞご協力をお願いします。

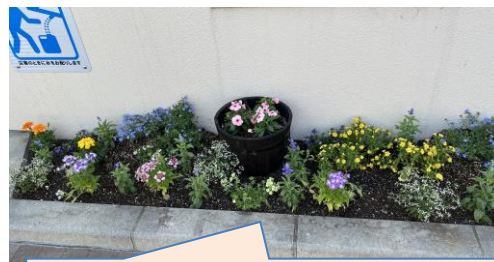
さて、5月18日の参観日には、ご多用のところ多数おいいただきありがとうございました。4月よりも様々な面で学校に慣れてその子らしい姿も見られたのではないのでしょうか。6月17日は子どもたちが楽しみにしている「立花フェスティバル」があります。どの学年や年代の人にも楽しんでもらうためにはどうしたらいいかと、考え工夫しながら試行錯誤を重ねている姿が微笑ましいです。本校は今年度より校内研究テーマを『すべての子どもに主体的対話的で深い学びを実現する授業のあり方～ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業改善』としました。子どもの心や背景は学校にいる一斉学習の時間だけでは見えないところも多いですが、子どもが安心できる居場所や、自己有用感や喜びを感じられる教育を保護者や地域、関係機関とともに探り続けていきたいと思えます。子どもまんなかにして大人が連携をしていきましょう。よろしくお願いします。

6年生は、5月25日26日と愛知県リトルワールドと三重県鈴鹿サーキットへの修学旅行に行ってきました。天候に恵まれ、思い切り楽しみ、思い出を作ることができたことが何よりでした。挨拶を自然にできる姿が見られたことは本当に嬉しかったです。同時に、感謝や思いやりをもつことや自己管理について、日々の当たり前の生活を丁寧なことで培う力であることに、子どもたちが気づく良い機会になりました。早速翌日の振り返りに生かして取り組む姿勢がさすが6年生、頼もしいです。

本校は以前もお知らせしたように、幼保小連携モデル校として朝、1年生でスタートカリキュラムを取り入れています。思い切り鬼ごっこなどの自由遊びに夢中になっていても、タンバリンの合図が聞こえるとすぐに遊びを切り上げ、走って教室へ戻っています。本当に成長を感じます。

5年生は6月26日から30日まで美方高原自然の家へ自然学校に行きます。3年ぶりの4泊5日実施です。尼崎では経験できない豊かな自然の中で、家族と離れての集団生活を通して、家族のありがたさに気づき、自主性が身に付くことでしょう。

旗ふり当番の保護者様や見守りボランティアの皆様にも、ご多用のところ温かいまなざし本当にありがとうございます。登校時尼崎北警察も見守りにきてくださっています。自分や大事な人の心や生活がピンチだと思ったら、すぐに話を聞いたり助けたりできるよう専門家も含めて「チーム立花小」で進んでいます。それぞれのもつよさを認めてもらえる大人に育ってほしいと願います。



東門前花壇です。

コミュニティスクール「グリーンサム」の皆さんが、夏の花に植え替えてくださいました。癒しの空間です。

「みんなちがって みんないい」金子みすず